

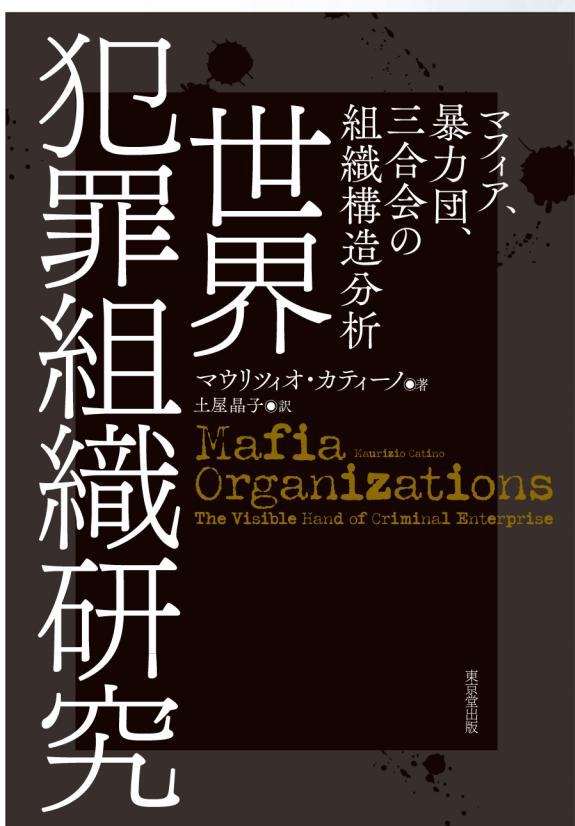
世界犯罪組織研究

—マフィア、暴力団、三合会の組織構造分析

マウリツィオ・カティーノ著 土屋晶子訳

(組織論・社会学者／ミラノ・ビコッカ大学)

シチリアのコーザ・ノストラ、カモツラ、ンドランゲタ、
米国のコーザ・ノストラ、暴力団、三合会、ロシアのマフィア——。
世界の主だった犯罪組織について、
組織研究の視座から体系的に分析した初めての書



ProductID: KP00072748

同時アクセス1（本体価）：44,000円

ISBN978-4-490-21050-7 C3036

おすすめします

刑事法学・経営学・政治学研究者
犯罪学・組織犯罪研究者
社会学・組織社会学研究者
法執行機関関係者
(警察、検察、裁判、矯正・保護)
弁護士・裁判員・被害者救済団体
大学・公共図書館

本書の特長

- 犯罪組織について「組織論」からアプローチする初の研究書。
- 各団体の組織構造についての図版、殺人件数等データリスト約40点掲載。
- 犯罪組織の独自のルール、構造、機能等が比較対照できる。
- 社会学、経済学、犯罪学研究の二次資料に加え、行政機関のデータ、政治機関の報告書、司法・捜査関係者、法執行機関などへの取材から得た膨大なデータを活用。
- 充実した索引を完備。人名のほか、組織構造の特徴から各犯罪組織における具体的な機能等が検索可能。

発行・発売 株式会社 東京堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17 TEL.03-3233-3741 FAX.03-3233-3746 <http://www.tokyodoshuppan.com>

世界の主要な犯罪組織を取り上げて組織分析を行い、比較対照することでそれぞれのロジックを明らかにする。組織図や独特的ルール・規範、新人のリクルートの方法、ビジネス運用の仕方、会計、懲罰のシステム、さらには暴力使用の物差し、特殊な儀式まで。膨大なデータを用い組織論の切り口から分析した画期的な研究書。

推薦します

五十音順・敬称略

◎加藤久雄（国際犯罪学者・弁護士・法学博士／元慶應大学教授・元ミュンヘン大学客員教授）

世界に類例のない 本格的な「マフィア」研究書

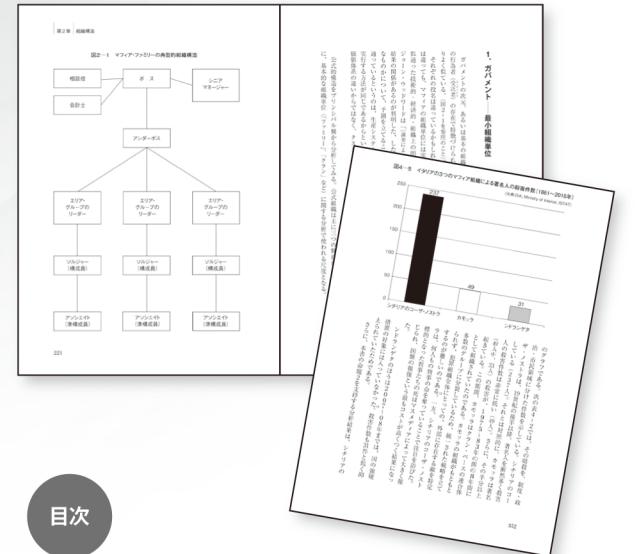
本書は、世界のマフィア型犯罪組織を「組織社会学」の視点から分析した、世界に類例のない本格的な「マフィア」研究書である。本書において「マフィア」とは、イタリアのマフィア、アメリカのコーナー・ノストラ、日本の暴力団（ヤクザ）、中国の三合会、ロシアのマフィアなどの犯罪組織の総称としている。本書は、コロナ禍の闇社会で稼ぐ、マフィア型犯罪組織のブラックビジネス撲滅に関心をもつ読者（犯罪学、経営学、政治学、刑事法学などの研究者だけではなく、警察、検察、裁判、矯正・保護などの法執行機関関係者、弁護士、裁判員、被害者救済団体、犯罪・非行者社会復帰支援団体関係者など）には、「マフィア」的犯罪組織構造実態の分析の手引きになる必読の書である。

◎溝口 敦（ノンフィクション作家、ジャーナリスト）

犯罪組織の分析・現象解明に有効な 「組織論的手法」

日本のヤクザ、暴力団をどう見るか。映画や演劇の世界では、股旅物や実録路線として誇張、美化される。逆に取締り側は憎むべき「反社」として、組員の人権さえ踏みにじりがちだ。しかし二つの立場とも彼らを「個」として見ることでは同じだ。対して本書は世界の犯罪集団を「組織」として分析・考究する。従来の社会学的なアプローチでも必要性が気づかれながら、ついに結実しなかった視点である。しかもシチリアのコーナー・ノストラや米・露・香港マフィア、日本の暴力団をも俎上に乗せ、組織構造解析する。

日本には「半グレ」など新顔の犯罪組織も登場した。本書の組織論的手法は新奇な現象解明にも有効なはずである。



目次

第1章 マフィアはどのような組織か？ それらの概念とそこにある誤解について

第2章 組織構造

採用活動と情報の非対称問題／調整とコミュニケーションの問題／学習／武勇伝、儀式、集団行事／会計／マフィアの取引コスト理論／クランと封建的階層制、ほか

第3章 組織の秩序

マフィアの構造／各マフィアの組織秩序の比較、ほか

第4章 組織秩序と暴力の使用

紛争と暴力／共謀あるいは競争？ イタリア・マフィアの殺人と紛争解決／他のマフィアにおける戦争と平和

第5章 マフィアのルール

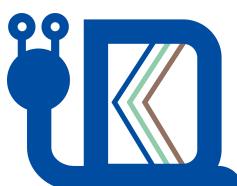
マフィアのルールの理論／タイプと機能、ほか

第6章 マフィアの組織としてのジレンマ

「セキュリティ」対「効率性」／「暴力の使用」対「暴力の抑制」／人材採用——「血縁」対「スキル」／信頼、不信、裏切り、ほか

【著者プロフィール】 マウリツィオ・カティーノ（Maurizio Catino）

ミラノ＝ビコッカ大学組織社会学教授、ニューヨーク大学社会学科客員研究員。専門は組織社会学。組織の暗黒面や人的ミスと組織の失敗、マフィアと犯罪組織についての論文や著書多数。著書に“Organizational myopia”（Cambridge University Press, 2013），“Mafia Organization”（同、2019）などがある。現在、組織におけるスケープゴトと罪を負わせる文化の問題について執筆を行っている。



紀伊國屋書店 学術電子図書館
KinoDen
Kinokuniya Digital Library

紀伊國屋書店 デジタル情報営業部

TEL:03-6910-0518

〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10

ict_ebook@kinokuniya.co.jp